



近畿地方整備局 紀南河川国道事務所	配布日時	平成27年7月31日 14時00分
資料配布		

件名	紀勢自動車道（田辺～すさみ） 8月30日（日） 南紀白浜IC～すさみ南ICが開通します！ ～観光レジャーの活性化に期待～
----	---

概要	<p>○紀勢自動車道（南紀白浜IC～すさみ南IC間 延長：24km）が、 平成27年8月30日（日）15時に開通します。</p> <p>○開通に先立ち、地元関係者の方々をお招きし、開通式典を 平成27年8月30日（日）11時15分より開催致します。</p> <p>○開通式典の詳細については、後日お知らせします。</p> <p><u>主な整備効果</u></p> <p>■「命の道」として、災害時の復旧支援・代替機能、救急活動支援が期待されます。</p> <p>■観光レジャーの活性化により、地域経済の好循環が期待されます。</p>
----	--

取り扱い	—
------	---

配布場所	大手前記者クラブ 近畿建設記者クラブ 和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ 田辺記者クラブ
------	--

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 副 所 長 吉村 英二 調査第二課長 小川 裕樹 TEL 0739-22-4564（代表）
------	--

紀勢自動車道(田辺～すさみ) (南紀白浜IC～すさみ南IC)の開通について

【事業概要】

紀勢自動車道(田辺～すさみ)は、近畿自動車道紀勢線の一部を担う延長38kmの国土開発幹線自動車道です。

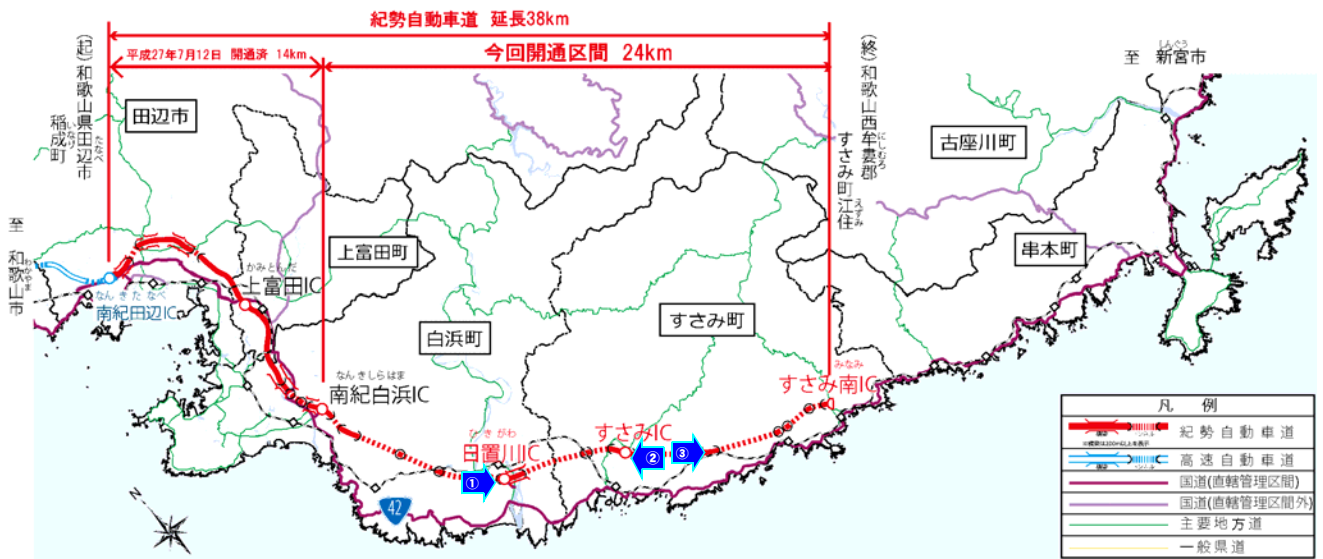
本道路は京阪神と紀伊半島の各都市を結び、輸送時間の短縮や、一般道の混雑緩和を図り、地域の産業、経済、文化、観光の振興と発展に寄与することを目的とした道路です。

この度、紀勢自動車道(田辺～すさみ)の南紀白浜IC～すさみ南IC(延長:24km)が、秋の行楽シーズンやわかやま国体を前に、開通することになりました。

開通に先立ち、地元関係者の方々をお招きし、開通式典を平成27年8月30日(日)11時15分より、開催致します。

開通日時: 平成27年8月30日(日)15時
開通区間: 南紀白浜IC～すさみ南IC
延長: 24km

【路線概要】



■今回開通区間の現況写真

ひきがわ
【①日置川IC付近】



【②すさみIC付近】



わぶか
【③和深地区】

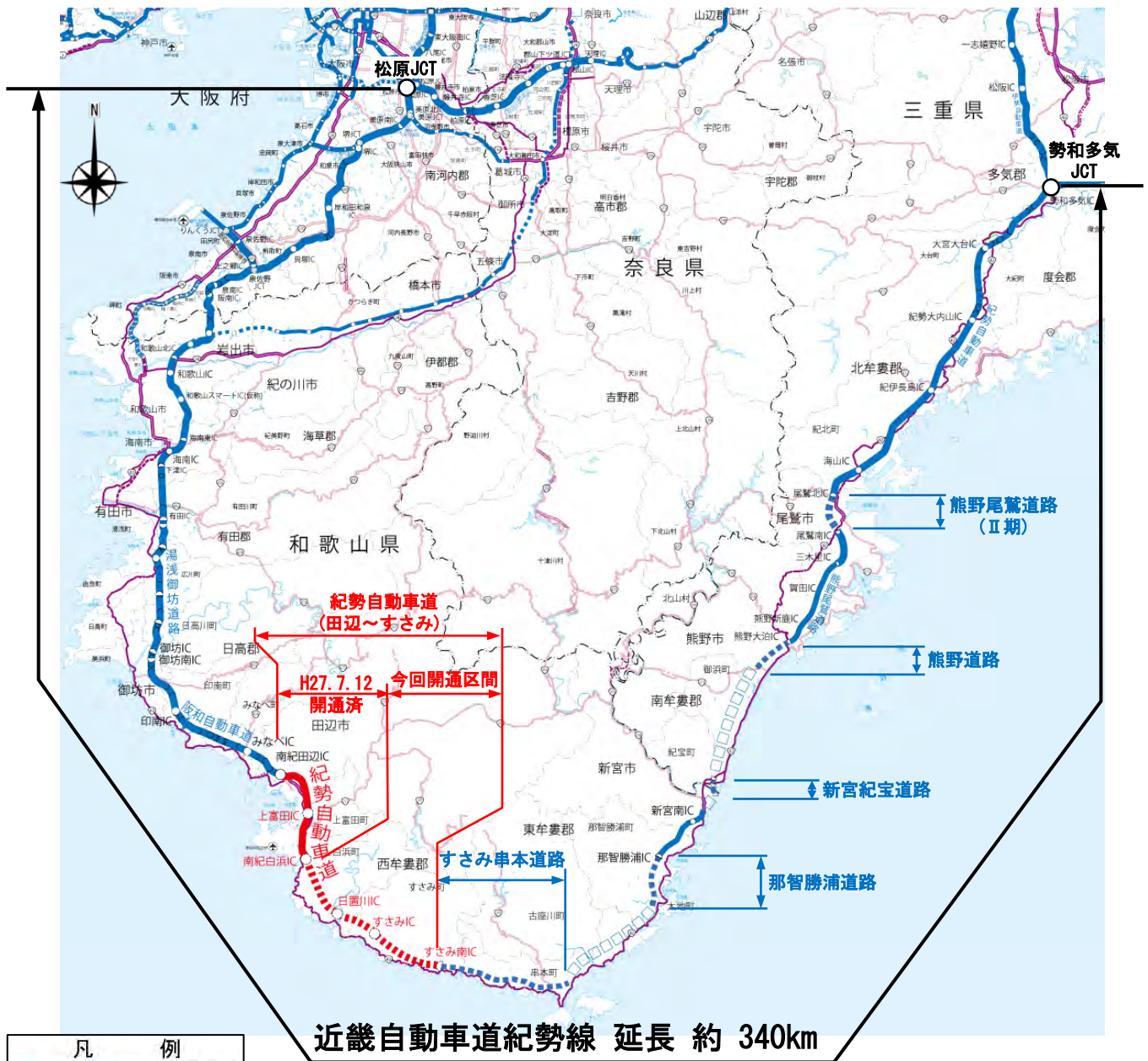


近畿自動車道紀勢線

■ 近畿自動車道紀勢線の概要

近畿自動車道紀勢線は、大阪府松原市を起点に、三重県多気郡多気町に至る延長約340kmの国土開発幹線自動車道です。

本道路は京阪神と紀伊半島の各都市を結び、輸送時間の短縮や国道42号の混雑緩和を図り、地域の産業、経済、文化、観光の振興と発展に寄与することを目的とする道路です。



- ◇南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率は70%程度
- ◇国道42号は南海トラフ巨大地震時に、半分の区間で津波による浸水が想定。
- ◇紀勢自動車道(田辺～すさみ)が整備されることにより、紀伊半島の「くしの歯の根本」となり、救急車等の緊急車両の迅速な救助・復旧活動を支援。

●南海トラフ地震の予想規模と発生確率



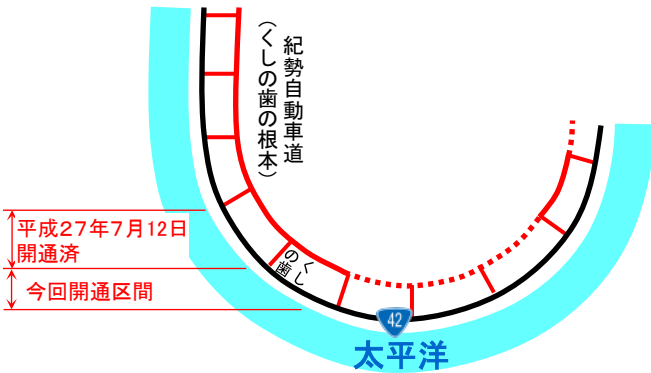
(資料: 文部科学省 地震調査研究推進本部 発表資料 平成26年1月)

●津波による浸水予測図

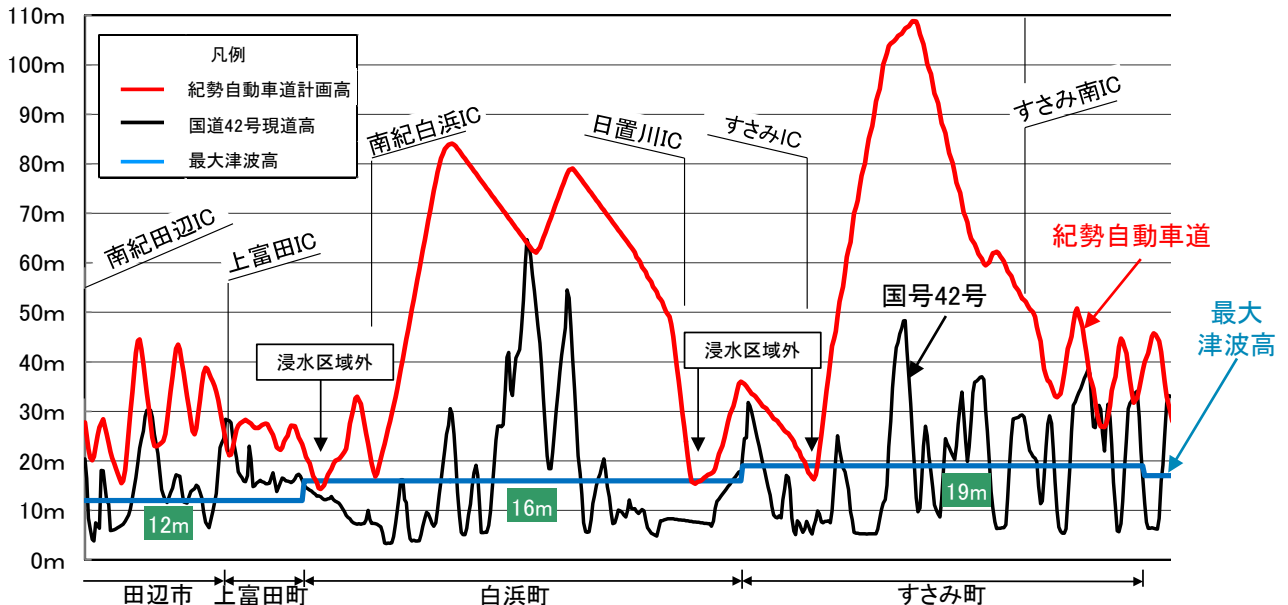


(資料: 南海トラフの巨大地震による浸水想定 和歌山県 平成25年3月
紀南河川国道事務所調査 平成25年3月)

●くしの歯のイメージ

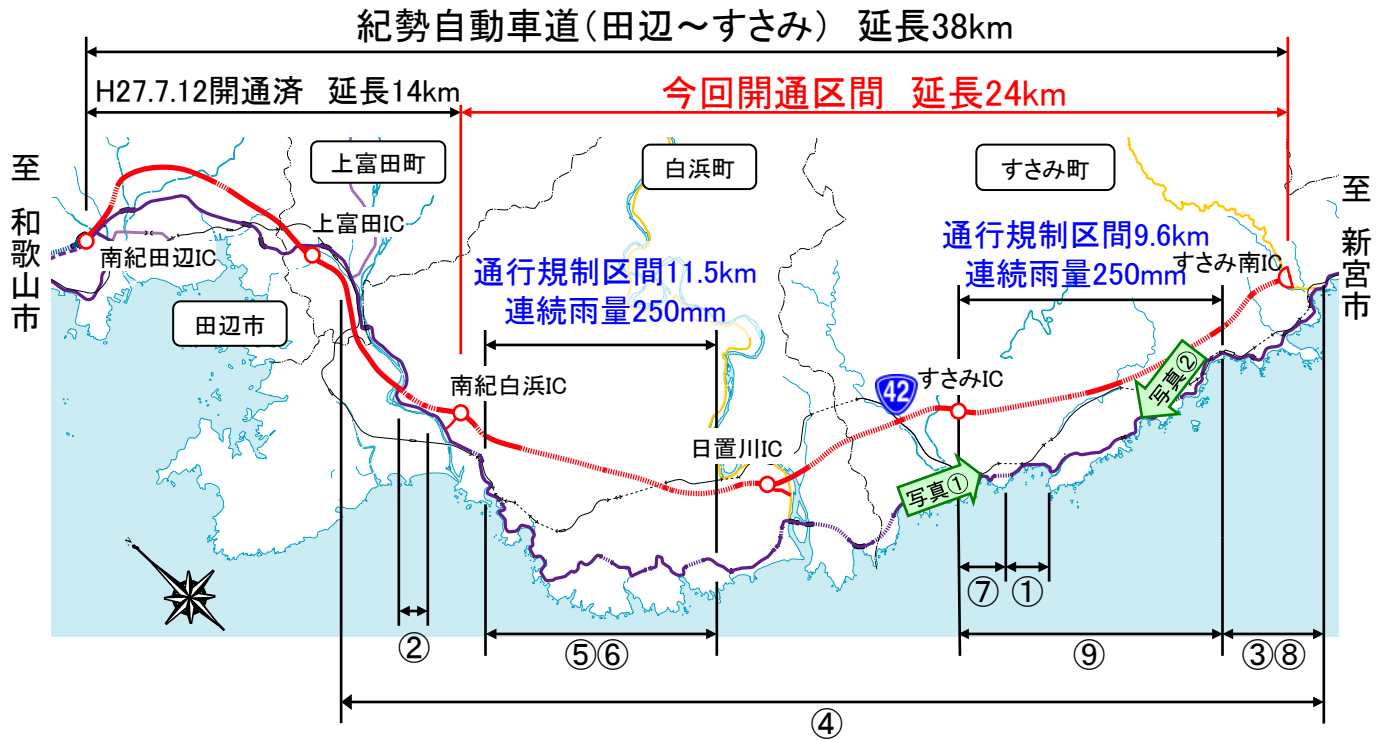


●津波に強い紀勢自動車道



(資料: 南海トラフの巨大地震による浸水想定 和歌山県 平成25年3月、紀南河川国道事務所調査 平成26年8月)

- ◇紀伊半島南部の幹線道路は国道42号しかなく、被災により孤立地域の発生が懸念。
- ◇本路線の現道区間である国道42号(約50km)では越波、大雨及び土砂崩落による通行規制を過去10年間で49回実施。(うち全面通行止めは9回)
- ◇紀勢自動車道(南紀白浜IC～すさみ南IC)の整備により、代替ルートが確保され、災害時の信頼性が格段に向上。



●過去10年間の全面通行止回数

番号	実施日	規制区間	規制原因	規制時間
①	H16.10.20	すさみ町周参見	越波	1時間
②	H21.08.09	白浜町十九洲	倒木	3時間
③	H21.10.08	すさみ町江住	越波	3時間
④	H23.03.11	新宮市～上富田町	津波	23時間
⑤	H23.07.20	白浜町志原～白浜町富田	規制雨量	16時間
⑥	H23.09.03	白浜町志原～白浜町富田	規制雨量	54時間
⑦	H24.06.19	すさみ町口和深	越波	9時間
⑧	H24.09.30	すさみ町江住	越波	2時間
⑨	H25.09.16	すさみ町見老津～すさみ町周参見	規制雨量	5時間
合計				116時間

●越波状況(すさみ町口和深地区)



H16年10月撮影



H23年9月撮影

地域の救急医療を支援！

- ◇紀勢自動車道(南紀白浜IC～すさみ南IC)の開通により、三次救急医療施設までの救急搬送時間が30分短縮。
- ◇現道の線形不良区間を回避することにより、安定した搬送が可能となり、患者への身体的な負担の軽減に期待。

●すさみ町から南和歌山医療センターまでのルートと搬送時間短縮



H22道路交通センサスより算出

●南和歌山医療センターの概要と期待の声



三次救急医療施設の南和歌山医療センターは、和歌山県の災害拠点病院に位置付けられています。また、日常的にも串本方面から多くの患者さんに利用して頂いており、高速道路の延伸により、短時間で安全に搬送・通院が出来るようになれば、日常的な患者さんの負担軽減に大きな効果があると期待しています。

多くの人命を救うため、ドクターヘリなどの活用も進んでいますが、道路交通網の充実も紀南地方の医療資源をより有効に活用するという観点で非常に大切だと思っています。

紀南河川国道事務所ヒアリングより



・三次救急医療施設

三次救急医療施設とは、比較的軽傷の救急患者を診察する一次救急医療施設、手術や入院を必要とする重症患者を担当する二次救急医療施設に対し、心筋梗塞、脳卒中、頭部損傷などの一刻を争う重篤救急患者に、24時間体制で対応する救急医療施設です。

・災害拠点病院

災害拠点病院とは、24時間救急対応し、災害発生時に被災地内の傷病者の受け入れおよび搬出を行うことが可能な医療施設です。

地域の観光レジャー活性化に寄与！ —経済の好循環—

- ◇紀勢自動車道の整備により、移動時間が短縮し、多くの観光資源を抱える紀南地方がより身近に！
- ◇紀南地方に来訪しやすくなることで、観光客数の増加や、地域の観光レジャーの活性化・地域経済の好循環に期待！

南紀熊野ジオパーク ※1

①オン崎



②フェニックス褶曲



③黒島



④戎島



⑤江須崎



⑥くしもと橋杭岩



⑦串本海中公園



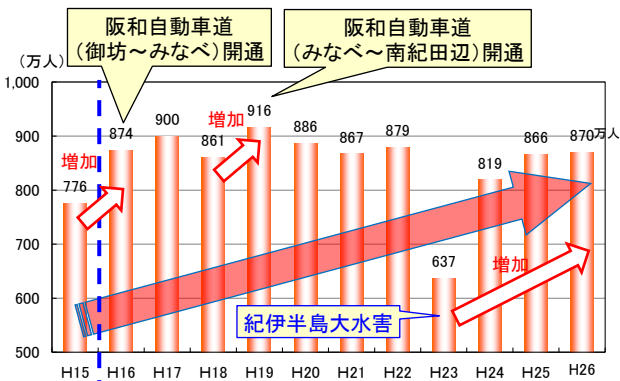
⑧道の駅すさみ (H27.9開業予定)



近畿地方整備局記者発表資料 (H27.4.15)より

●高速道路の開通と共に観光客が増加

観光客の推移【紀勢自動車道の沿線地域】



出典：和歌山県統計年鑑（観光客動態調査報告書）
※田辺市、上富田町、白浜町、すさみ町、串本町



※1 南紀熊野ジオパーク

プレート沈み込みに伴って生み出された大地、独特の景観など数多くの優れた自然や文化を体感できる場所。

●高速道路開通によりアクセス時間の大幅な短縮

年	高速道路開通区間	アクセス時間※1 (大阪市～串本町)
H14	松原JCT～御坊IC	4:23
↓	約65kmの延伸	往復約3時間の短縮

※1) アクセス時間：【御坊IC～南紀田辺IC開通前】H17道路交通センサスより算出
【御坊IC～南紀田辺IC開通後】H22道路交通センサスより算出
【南紀田辺IC～すさみ南IC間】規制速度(70km/h)により算出

開通前 | 開通後